

15. 脳・AI・ロボットとこれから迎える未来社会科
(金曜日授業予定表)

				午 前			午 後			
回	月	日	曜日	講義数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ (内容)	内 容 (講師)	
1 学 期	1	8	月	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	4	19	金	1	脳とAI	テクノロジーの発展が提起する倫理的・社会的問題	中村征樹(大阪大)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション
	3		20	金	2	〃	21世紀は脳の時代	筒井博司(元大工大)	高大オリエンテーション	終了後班役割説明・班各担当・班長決定
	4		17	金	3	〃	環境に応じて柔軟に変化する脳	守田知代(NICT)	自主活動	各担当別会議(代表者決定他)
	5	5	24	金	4	〃	人・ロボットと共生する脳	守田知代(NICT)	〃	クラス委員長決定、第1回遠足先行検討
	6		31	金	5	〃	ヒトの脳と心・知能と意識	筒井博司(元大工大)	〃	
	7		7	金	6	〃	脳とコンピュータの違い、AIの誕生	筒井博司(元大工大)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	9	6	14	金	7	〃	AIは何ができるのか ー睡眠分析と気象予測への応用ー	福井健一(大阪大)	自主活動	
	10		21	金	8	〃	脳科学からみた認知症 脳内で何が起きているのか	筒井博司(元大工大)	〃	
	11		28	金	③★	③遠 足 (1)				
	12		5	金	9	脳とAI	AI(ディープラーニング)の応用	布目淳(京都工繊大)	自主活動	
	13	7	12	金	10	AIとロボット	AIとIoTで変わる日常生活 脳波計でセルフケア	関谷毅(大阪大)	〃	
	14		19	金	11	〃	AIにはだまされないために	小寺正敏(元大工大)	〃	
		8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	20	金	12	AIとロボット	手術支援ロボット	東條剛史(メディアロイド)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討
	16		27	金	13	〃	AI・ロボット時代 ロボット誕生の歴史とロボットの未来	筒井博司(元大工大)	〃	健康まつり、コーダイフェスタ内容説明
	17		11	金	14	未来社会	気候変動に具体的な対策を	高梨けんし(京都大学)	〃	健康まつり、コーダイフェスタ準備
	18	10	16	水	④★	④コーダイ健康まつり				
	19		25	金	15	AIとロボット	介護・福祉ロボット	藤井仁(RTワークス)	自主活動	コーダイフェスタ準備
	20		1	金	16	〃	人が主体的に活躍できるアバター共生社会	内海章(ATR)	〃	コーダイフェスタ準備
	21	11	13	水	⑤★	⑤コーダイフェスタ(豊中市立文化芸術センター)				
	22		15	金	17	AIとロボット	生成型AIの進化は人類の福音となるのか驚異となるのか	本田幸夫(東京大・大阪大)	〃	成果発表会内容検討
	23		22	金	18	〃	中国で進むロボット・AIを活用した科学的介護	本田幸夫(東京大・大阪大)	〃	
	24		6	金	19	講義	自主企画講座			
25	12	13	金	20	未来社会	2030年アジェンダ(SDGs)と循環型共生社会の提案	草郷孝好(関西大学)	〃		
26		20	金	21	〃	2030年の日本の経済社会展望: 国民生活と福祉を中心に	本田豊(立命館大)	〃		
					冬 休 み					
3 学 期	27		10	金	22	未来社会	Society5.0が目指す未来社会	筒井博司(元大工大)	自主活動	
	28	1	17	金	23	〃	陸の豊かさを守ろう	上田萌子(大阪公立大)	自主活動	成果発表会準備
	29		24	金	23	〃	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	山口容平(大阪大学)	自主活動	成果発表会準備
	30		7	金	24	〃	自主活動	成果発表会準備	海の豊かさを守ろう	澤田好史(近畿大学)
	31	2	14	金	⑥	★社会活動への参加活動 (仮日程:1学期~2学期の間に活動日を1回設定)				
	32			26		学習成果発表会				
	33			21	金	⑦	⑦修了式			
	34	3	6	木	⑧	⑧卒業旅行(1泊2日)				
35	7		金	⑨						
授業(自主企画、成果発表会含む)						26(講座数列1~26)				
学習事業(①~⑨)						9(講座数列①~⑨)				
合 計						35				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。